

---

# 斉藤君との同居生活

深川辰巳

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

齊藤君との同居生活

### 【コード】

N9782H

### 【作者名】

深川辰巳

### 【あらすじ】

齊藤君との奇妙な生活。ブログの一日記のような文章でお送りします。

(前書き)

深く考えずに、気楽に読んで楽しんでいただければ幸いです。

斉藤君との出会いを話しましょう。

彼が近所の子供達にいじめられているところを出くわしたことが運の尽き。

子供達から救出して以来同居生活が続いています。

私は会社から帰ると着替えもそこにキャベツの芯を斉藤君が居る水槽の中に放り込むのが日課です。

斉藤君は甲羅の中に引っ込めていた手足と頭を出して、嬉しそうに目を細めます。

キャベツにかじりつき始める姿はまさにガメラです。

それにしてもなんなのでしょう？ 助けてもらったあげくに餌まで要求するなんてヒモでしょうか？

本来竜宮城に連れて行く義務があるのは斉藤君なはずです。

義務を果たさずに、権利ばかり主張するのは世の中なめきっているのです、ここらで少しばかりお仕置きしたいと思います。

次の方法を考えておりますが、いかがでしょうか？

- 一、蛇と同居させる。
- 二、海に連れて行って上に乗ってみる。
- 三、甲羅をベーゴマのように回して遊ぶ。

一は却下です（私が蛇が苦手だから）

二も却下です（ウミガメではなくリクガメな上、私が乗れるほど大きくありません）

三はどうでしょうか？ 少し楽しそうな気もしますが、かわいそうなのでやめたいと思います。

そういうわけで、今日のところはお仕置きを勘弁してあげようと思います。

と、許してあげたにもかかわらず斉藤君はお腹いっぱいになったことを良いことに眠り始めています。

食欲が満たされれば、後は睡眠欲ですか。

次は性欲を満たすために私がいたずらされる日が来るかもしれません。

そのときは皆さんに報告したいと思います。

嘘です。そんな日が来るはずがありません。

あ、そのあなた。少しだけ期待しましたね？ 期待した人は素直に手を上げてください。

通報しますので。

そろそろ私も晩御飯にします。斉藤君に食事をあげても私のお腹は満たされてないのでから。

まあ、斉藤君ももう少し太ってくれれば私のお腹を満たすこともできるでしょう。

その日が今から待ち遠しいです。

(後書き)

いかがでしたか？  
乾燥お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9782h/>

---

斉藤君との同居生活

2010年11月21日03時09分発行